

News Letter



川の自然体験学習会 in 常呂川（置戸町立置戸小学校）

川の安全講習会 & 川下り体験 実施レポート

◆開催概要◆

令和7年6月20日（金）に、置戸町を流れる常呂川の上流部で、置戸町立置戸小学校6年生18名を対象に「川の自然体験学習会」を開催しました。

学習会では、川で遊ぶ際の危険回避方法を学ぶ「川の安全講習会」と、ゴムボートで常呂川をラフティングする「川下り体験」、ライフジャケットを着たまま川を流れる「川流れ体験」を行いました。



川下りのルート 拓殖橋上流から種川合流点付近まで全長約3km

◆実施内容◆

当日は午前から気温が25℃を超える夏日でしたが、川の水温は16℃程度と少し低い中で開催となりました。

「川の安全講習会」では、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について学習。“1人では川に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。

川下りの前に、ライフジャケットやヘルメットを着用し、ボートの座り方やパドルの扱い方などを学習しました。また、川に流された人を救出する「スローバッグ」を投げる体験をしました。

準備が整ったらいよいよ「川下り体験」。児童たちは4艇に分かれて出発しました。それぞれのボートには前後に操船スタッフが配置され、安全に進むことができます。川の流量が多くボートが思いのほか速く流れましたが、児童たちは普段見ることのできない川からの景色を眺めながら川下りを楽しみました。

ゴールに到着した後は「川流れ体験」を行いまし

た。はじめは恐る恐る仰向けになる児童たちでしたが、川に身をゆだねると気持ちよさそうにプカプカと流れていました。

児童たちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



川に流されたらどうする!?
対処のしかたを学びました



ちょうどいいサイズかな?
川に入る装備をしっかりと



スローバッグを投げて救助



ゴムボートで川下り



水しぶきをあげながら前進



全員で手をつないで
プカプカ川流れ体験!

～知って得する川の安全情報 天気～

川に近づく前に天気予報をチェックしましょう。その際、自分が行く場所だけではなく、川の上流の天気も忘れずに。その場所が晴れていても、上流で大雨が降れば、急に水かさが増すことがあります。水が濁ってきたり、枝や落ち葉が流れてきたりしたら、すぐに川から離れましょう。

川にいるときに天気が急変することもあります。今いる場所や上流側の空が暗くなってきたり、雷の音が聞こえてきたり、急に冷たい風が吹いてきたりしたら、天気急変のサインです。川の増水だけでなく、雷やひょうからも身を守らなければなりません。速やかに川から離れ、安全な屋内に避難しましょう。

本ニュースレターに関するお問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126



News Letter



川の自然体験学習会 in 網走湖・網走川

「あばしり学」実施レポート

◆開催概要◆

令和7年7月19日（土）に、網走湖及び網走川で、網走市近郊の小学生19名を対象に川の自然体験学習会「あばしり学」を開催しました。

学習会では、水辺で遊ぶ際の危険回避の方法を学ぶ「安全講習会」、屋外で必要となる様々なロープの使い方を学ぶ「ロープワーク講習」、網走湖の水質環境を学ぶ「水質調査」、ライフジャケットを着て湖に浮かぶ「ぶかぶか体験」、Eボートで網走川を下る「川下り体験」を行いました。



ロープワーク・水質調査・ぶかぶか体験：女満別湖畔公園キャンプ場
川下り：大曲湖畔園地～オホーツク文化交流センター前

◆実施内容◆

学習会は大空町の女満別湖畔公園キャンプ場からスタート。この日は朝から小雨が降っていたものの、学習会が始まると雨がやみ昼頃にははかりと晴れた良い天気となりました。

「安全講習会」では、水辺に近づく時の注意点や危ない場所についてスタッフが説明を行い、“1人では水辺に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。



水辺に近づく時の注意点
対処のしかたを学びました

ライフジャケットを着た後、2グループに分かれて「ロープワーク講習」と「水質調査」を交互に行いました。「ロープワーク講習」では、基本の“8の字結び(エイトノット)”や“とっくり結び(クラブ

ヒッチ)”などを学びました。子どもたちは初めての体験に悪戦苦闘していました。「水質調査」では、湖水の透明さを透視度計で測定したり、実際に湖に入って湖底の感触を確かめたりしたほか、ろ紙を用いたクロロフィルの簡易確認や、パックテスト®を用いた簡易水質調査を行いました。

次は全員で「ぶかぶか体験」です。湖に入りスタッフと子どもたちが水をかけ合って、水に慣れてきたところで、湖面であおむけになりました。ライフジャケットの浮力を感じながら、気持ちよくぶかぶか浮くことができました。

昼食後は網走市の大曲湖畔園地に移動して「川下り体験」を実施しました。まずはライフジャケットを着て、ボートでの座り方やパドルの扱い方などを学習し、準備が整ったら3艇に分かれて出発です。子どもたちは普段見ることのできない湖や川からの景色を眺めつつ、みんなで力を合わせて川下りを楽しみました。ボートは無事にオホーツク文化交流センターに到着し、閉会となりました。

子どもたちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



”とっくり結び”で
ロープと棒を結びました



網走湖の水をバケツに汲み
色と匂いを観察しました



みんなで一斉に後ろに倒れ
ぶかぶか体験



川下り前にパドルを持って
操船練習をしました



みんなで力を合わせて川下り

本ニュースレターに関するお問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126

News Letter



川の環境教育 in 網走川

船橋市・津別町青少年交流事業プログラム 実施レポート

◆開催概要◆

令和7年8月4日（月）に、津別町を流れる網走川の上流部で、船橋市・津別町青少年交流事業プログラム「川の環境教育」を開催し、船橋市と津別町の小学生から大学生までの56名が参加しました。

本プログラムでは、川で遊ぶ際の危険回避の方法を学ぶ「川の安全講習会」、ゴムボートで網走川をラフティングする「川下り体験」、川に住む水生生物から水質を判定する「水生生物調査」、川に住む魚を観察・採捕する「魚類調査」、様々なロープの使い方を学ぶ「ロープワーク講習」を実施しました。



川下り体験：達媚橋上流から弁慶岩付近まで全長約4km
開閉会式：川の安全講習会・水生生物・魚類調査ほか：達媚橋上流

◆実施内容◆

当日は気温が30℃を超える暑い日でしたが、川の水温は20℃程度での開催となりました。

開会式では、学生代表挨拶のあと「川の安全講習会」を行い、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について説明を行いました。記念撮影の後、「川下り体験」と「水生生物調査・魚類調査・ロープワーク講習」の2グループに分かれ、午前と午後のローテーションで行いました。



川に流されたらどうする？
対処のしかたを学びました



網走川を背景に記念撮影

「川下り体験」の前にライフジャケットなどの装備品を着用し、ボートの座り方やパドルの扱い方を学びました。その後6艇のボートに分かれて川下り体験に出発しました。子どもたちは普段見ることのできない川からの景色を眺めながら川下りを楽しみました。

「水生生物調査」は、網走川の水を汲みパックテスト®を用いて簡易水質調査を行った後、実際に子どもたちが川に入り、川底の石を手に取り石にくっついて生物を観察しました。ピンセットで生物を種類ごとに分けて生物数を数えた結果、ヘビトンボなど“きれいな水にすむ水生生物”が多く見られ、この調査地点の水質が良好であることがわかりました。

「魚類調査」は、事前にスタッフが捕ったウグイ・ヤマメなどをタライで観察した後、実際にタモ網を持って川に入り魚とりに挑戦しました。

「ロープワーク講習」は、基本の“8の字結び(エイトノット)”や“とっくり結び(クラブヒッチ)”などを学んだ後、2人1組に分かれて縄ばしごを作成しました。

津別町の豊かな自然を体感することができ、子どもたちも大満足のプログラムとなりました。



川下り前にパドルを持って
操船練習をしました



ゴムボートで川下り



川の石には
どんな水生生物がいるかな？



タモ網を並べて
上流から魚を追い立てます



ロープをどこに通す？
縄ばしごを作成しました

本ニュースレターに関するお問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126